

# 測定・分析結果のデータベース化

平成23年6月27日



(独)日本原子力研究開発機構  
システム計算科学センター

## 目的

福島県及び近隣の各県における空間線量の測定結果や、陸域土壌(土壌表面及び土中)及び河川・地下水の分析結果等を集積、統合して一元的に保管するためのデータベースを構築し、住民の健康への影響及び環境への影響を将来にわたり継続的に確認するための礎となる貴重なデータとして保存、公開する。

## 実施内容

### 1) データベースの構築

本事業において収集したデータやこれまでに文部科学省が実施してきたモニタリング作業において収集したデータを一括して管理するデータベースを構築する。

### 2) データベースの運用管理

セキュリティ技術を活用してデータの遺失、改竄、漏洩を防止し、安全かつ安心なデータの利用を実現する。

### 3) データの補正

放射線量等分布マップの精度向上のために、登録されたデータに対し必要に応じて補正を実施する。

## 現状

- データベースの設計を進めるとともに、運用管理方針を策定(図参照)。
- 福島県内を対象に6月上旬に実施されたモニタリングカーサーベイによる空間線量測定データ、土壌試料採取時に測定された空間線量測定データの管理を実施中。

## 今後の予定

- 7月中から試験運用を開始。その後、ユーザーフレンドリーなシステムへと改良をすすめる。
- 放射線量分布マップ、土壌試料分析結果に基づくヨウ素、セシウム分布マップ等を順次公開予定。

# 測定・分析結果のデータベース化(3/3)

